

里浦地区 地域福祉活動計画

1. 地区の概要

地区人口	3, 211人	民生委員児童委員	8人
65歳以上人口	1, 275人	幼稚園・保育所 認定こども園	1か所
高齢化率	39.7%	小・中学校	1校
年少者(0～14歳)人口	257人	令和4年3月31日現在	
人口の増加	△8.0ポイント	鳴門市全体の数値	△6.8ポイント
65歳以上人口の増加	1.4ポイント		2.6ポイント
年少者人口の増加	△23.3ポイント		△15.3ポイント
高齢化率の増加	3.7ポイント		3.3ポイント

※ 数値は平成30年から令和4年までの間の増減を表しています。

2. 地区の現状と課題 (地域座談会で出た意見などをまとめています。)

- 高齢単身世帯が増えているが、周りも高齢者が多く支援がままならない。
- 個人情報保護の意識が高くなり、要支援者の情報が共有できない。
- 若い世代はいるが農業従事者が多く、地域活動に参加する時間がとれない人が多い。
- 地域バスはあるが運行経路が悪くなく、バス停まで遠いため利用しにくい。
- 消防団活動が盛んであり、若い世代も活動に参加している人が多い。
- 小学校との協働で多くの活動が行われており、特に「いのちを守ろう集会」では自治会や警察との連携により子どもの安全のために取り組んでいる。
- 地域に若い世代の後継者がいることは強みである。

3. 地区で取り組むこと

若い世代の地域活動への参加促進

1. 学校行事をとおして地域活動への理解を深めてもらい、子どもの保護者世代を中心とした若年層の参加を促していく。
2. 活動や会合の実施に際し、現役世代が参加しやすい日程や時間帯に設定するなど、多くの人が参加できるようにしていく。

高齢者の見守り活動と災害時に対応できる体制づくり

1. 町内会の中の「班」など、10世帯程度までの小単位で日常の見守り活動を行う体制を作っていく。
2. 防災意識と実践力向上のために、町内会など小地域単位での防災訓練を行う。
3. 里浦南防災センターを活用して、津波災害に備えた訓練を実施する。

買い物・外出支援の支え合いの仕組みづくり

1. 隣人への声掛けによる個人的な買い物支援などの小さな「互助」から始め、必要に応じて規模を拡大していく。
2. 買い物や外出支援の必要性について高齢者等の意向を調査し、必要性が増した際に円滑に進められるよう準備を行う。

